

■ NOG-ΔMHC (NOG-IabKO, B2mKO)マウスのご紹介

・正式名称：NOD.Cg-Prkdc<scid> Il2rg<tm1Sug> B2m<em1Tac> H2-Ab1<tm1Doi>/Jic

・特徴

- ① 本系統は、ヒト細胞に対して高い生着性を示す重度免疫不全の NOG マウスを基に、ヒト T 細胞が認識するマウス MHC Class I 分子の $\beta 2m$ および Class II 分子の I a β を欠損させたモデルです。
- ② 重度の免疫不全に加え、hPBMC 移植後の Xenogenic な Graft Versus Host Disease (GVHD) が緩和され、長期の試験が可能になりました。今までの NOG マウスではヒト PBMC 移植後 1 ヶ月程度で GVHD を発症していましたが、より長く 3 ヶ月程度の観察が可能になりました。
- ③ 主な研究用途：
PBMC 移入ヒト化マウスを使った免疫チェックポイント阻害剤の研究、 長期に亘る担がん試験
- ④ 論文紹介：

Ashizawa T et al., Clin Cancer Res. 2017 23(1):149-158

Akiyama Y et al., Immunol Lett. 2017 190:20-25

Ashizawa T et al., Immunol Lett. 2019 216:43-50

Yaguchi T et al., Cellular & Molecular Immunology (2018) 15, 953–962

・ホームページ

系統について、下記ホームページに紹介がございます。

https://www.invivoscience.com/mouse/nog_mhc.html#NogMhcMouse01

本モデルに関するお問い合わせ先：sales@invivoscience.com 営業部 田畑宛

044-201-85198